

## 道路拡幅の将来を考える

現在、道路拡幅事業により、市谷柳町と市谷薬王寺町の一部では、既に家の取り壊しが始まっています。このままでは、七・八年後、ただ車が通過するだけのさびれたまちになってしまいました。私達はこのまちの住民として、これを黙って見過ごす訳にはいきません。住民が共に対応を考え、住み良いまちを造るため、去る四月二二日、新浪漫亭にてまちづくりの会が開催されました。

川上商店会長より、今までの経過報告及びこれから先の予定の発表がありました。「三月三〇日に一回目のまちづくりの会を開きました。その時に出た話は次のとおりです。共同ビル建設を希望する 新たに地下鉄の出入口を柳町商店街東側に作ることを希望する 江戸風のまち並みで外観を統一してほしい ただの道路拡幅だけではなく公園の様に広場のある道路にして、コミュニティセンターも造ってほしい 柳町商店街東側部分を先に整備してほしい以上、これらを実現する為には、きちんとした組織づくりが先決になります。これから皆様と共に頑張りましょう。今後は新宿区都市計画部まちづくり課課長新井建也様、主査大竹弘和様、佐々木哲也様のアドバイスを受けながら進めたいと思います。」

## 会の名前決まる

【組織の名称】柳町まちづくりの会  
【組織運営委員】会長橋本公雄、副会長川上浩  
【橋本会長の挨拶】「以前にこの町は鉛公害の打開策として町の再開発計画が東京都から発表があり幾度となく会合が持たれましたが、意見がまとまらず立ち消えとなりました。同じ事を繰り返さない様、皆さんの気持ちを一つにしないとまちづくりをする意味がありません。既に道路拡幅した場所を見ると、景観がバラバラです。これを踏まえて、よく研究し、皆さんと共に他に類を見ない、素晴らしいまちづくりをしましょう。」

## 試衛館跡に歴史標柱立つ

市谷柳町二五番地に新選組局長近藤勇が道場を開いていた事は公文書で明らかになっていますが今までそれを記す標識が存在しませんでした。道路拡幅が始まり町づくりを意識した中でこの町のひとつのイメージの要になればと新宿区との共同作業で立ちました。  
(写真・町会長と同好会市谷柳町試衛館メンバー)



## みんなのためのまちづくり

新宿区役所・大竹氏の話「まちづくりとは、普通先を見越して十年から二五年かけて造る訳ですが、柳町の場合、道路拡幅工事が七年後には終わる予定ですから、今すぐにも行動していかないと間に合わなくなります。まちづくりの会としてのプランがあれば、東京都と話し合いの場をもってもらいたいと思います。法律でまかなえるものがあれば、まちづくりの会のルールを作って、法律的に位置づけましょう。当方で色々ご指導できれば良いと思っています。同じお金をかけて道路整備をするのですから、『このようなまち並みにしてほしい』とまちづくりの会から要望を出すことも出来るのではないのでしょうか。次の段階として、まち並みの絵図面が決まり、絵図面通りのまちづくりが可能となった場合、道路に面する商店の経営者だけに集まってもらい、協定を結んでまち並みに合った統一間を持たせるのも良いと思います。また、住民の総意があれば、地域計画と云うルール、つまり法律を作る事も出来ます。例えば、柳町界限に今後マンションがたくさん建つと思いますが、地区計画が出来ていけば、業者が建築申請する場合も、まちの団体に相談しなければ勝手に建築を進めることが出来なくなります。京都・金沢が良い例です。その為にもまちづくりの会が必要になります。商店の方も住民の方も、同じ立場に立ってまちづくりをして下さい。」

## 空地活用法

【二回目の会合で出た意見】  
東京都が土地を買収した空き地スペースを一時的に利用したい。ゴミの投げ捨てを防ぐ為、収容地に街灯を設置して花壇を作り、ベンチを置いてほしい。  
二回目の会合に参加された方々（新宿区まちづくり課）大竹・佐々木の両氏（住民）橋本・川上・大井・林・石割・井上・北原・松下・久保・薮・田川・東郷・八木・林（良）・山東

## 【第三回の日程】五月二二日(水)新浪漫亭二階

会議室・夜八時より。講師・新宿区年計画部まちづくり課大竹弘和さん・佐々木哲也さん質疑応答有。住民の皆様様の積極的な参加をお待ちしています。

「ご意見・ご質問などがございましたら町づくりの会事務局川上(三三四一・三七九七)・八木(三三四一・九八八七)まで連絡して下さい。」

## 『イベント情報』

五月一六日(日)に新選組ウォークを開催。牛込柳町駅をスタートして身近の歴史を掘り起こす小旅行です。問い合わせは市谷柳町試衛館まで・Email・nakai-linda@happy.email.ne.jp/FAX・03-3341-8616